

令和 8 年度救急医等専門研修（精神身体合併症）の概要

1 目的

救急医療機関に勤務する医師及び看護師等、並びに都内の消防機関に勤務する救急隊員に対し、精神身体合併症に関する専門的な研修を行い、救急医療の資質の向上を図ることを目的とする。

2 研修内容

- (1) 救急医療機関において、精神症状を呈する救急患者を受け入れる際に、精神科医、精神科の医療機関又は精神保健福祉に関する機関につなげるまでの間、当該患者に安全かつ安心な標準的初期診療を提供できるよう、救急医療スタッフとして必要な医学的知識、接遇法、入院管理、リソースの有効活用、外来フォローアップへのつなぎ方などの習得するための研修を行う。
- (2) 精神身体合併症救急医療に関する理解を促進し、地域の関係機関との連携体制を強化するための研修を行う。

3 対象者

都内の救急医療機関で救急医療に携わる医師及び看護師等、並びに都内の消防機関に勤務する救急隊員

4 募集人数

各回 32名程度（4グループ＝医師及び看護師等28名程度、救急隊員4名程度）
※受講希望者数等に応じ、受講人数、グループ数を変更する場合があります。

5 日程

第1回：令和8年 7月26日（日曜日） 正午から午後4時40分まで
第2回：令和8年11月15日（日曜日） 正午から午後4時40分まで
第3回：令和9年 2月21日（日曜日） 正午から午後4時40分まで

6 場所

東京都医師会館（千代田区神田駿河台2-5）

7 受講料

無料

8 その他

- (1) 本研修における「救急医療における精神症状評価と初期診療」（PEEC・日本臨床

救急医学会)のコースディレクターは、臨床教育開発推進機構理事(前 帝京大学医学部救急医学講座教授・帝京大学医学部附属病院救命救急センター長)の三宅康史先生が担当予定

(2) 受講生には事前にPEECガイドブックを配付するとともに、日本臨床救急医学会よりPEEC研修の修了証を発行

9 研修カリキュラム(予定)

区 分	内 容	時 間
講義 グループワーク	≪救急医療における精神症状評価と初期診療 (PEEC・日本臨床救急医学会)≫ ・PEECの概要、救急医療と精神科 ・症例(以下のうち4症例)を用いたグループワーク ① 過量服薬を繰り返すパーソナリティ障害 ② 自殺企図のうつ病患者 ③ パニック発作による過換気症候群 ④ 統合失調症による不穏・興奮 ⑤ 違法薬物の中毒	4時間10分
講義	・東京都における精神身体合併症救急医療の現状と取組 等	10分
グループワーク	・地域の医療連携に関する情報共有・意見交換 等	20分

※ 休憩 20分(10分×2回)

※ カリキュラムの順序については変更となる場合があります。